

マスタートレース競技方法 2014/2015

スピード部委員会 2014/10/15

本連盟競技会のマスタートレースは、ISU特別規程第253条4項b)に示されるマスタートレース特別規則に沿って、以下のように実施する。(レースセットアッププランの図面参照)

- 1) 実施距離は女子 16 周、男子 16 周とする。全日本ジュニア選手権は女子 10 周、男子 10 周とする。スケーターがフィニッシュラインを最初に横切った瞬間にカウントダウンが始まる。
- 2) 競技トラックはセパレートレースレーンなしに、国内のシングルトラックとする。
 - * ただし、全日本距離別選手権ではウォームアップレーンを使用するトラックとする。
- 3) フィニッシュ側ストレートの中央（標準トラックの 1000m フィニッシュライン）からスタートし、フィニッシュ側ストレートの終わりにある（500m の）フィニッシュラインでフィニッシュする。このラインは中間スプリントのためのフィニッシュラインとしても適用される。
- 4) スケーターのスタート位置は競技者のシーディングにより、続いて抽選により決定される。
 - 全日本距離別選手権では抽選により列順及びポジションを決定する。
 - ジャパンカップ 2 戦では全日本距離別選手権のランキングにより、ランキングのない者は抽選により列順及びポジションを決定する。
 - ジャパンカップ 3、4 戦ではジャパンカップポイントランキングにより、ランキングのない者は抽選により列順及びポジションを決定する。
 - 全日本ジュニア選手権では 1500m の結果により、1500m に競技していない者は抽選により列順及びポジションを決定する。（* 30 名以上のエントリーがある場合、エントリー枠が 1500m の最終結果に基づいて制限されることがある。）

競技者は最も高くシードされた競技者が第 1 列になるように、各列最大スケーター 6 名、列間少なくとも 1 m でスタートする。

 - * 氷上で、図面 B のプレスタートに集合後、スタートライン C に着く。
- 5) すべての競技者がスタートラインの後方に並んだ時、スターターは「ready」の号令をかけ、スタートガンを発砲する。発砲前に前方に動いたり、自身のスタート列から動いたスケーターは失格となる。
- 6) レースの最初の周回では、一つのグループで滑走し、その中でよりよい位置を得るために加速することは許されない。この規則の違反は失格を生じる。
 - 最初の周回中にスケーターの大部分を巻き込む転倒が起きた場合、スターターからのホイッスル又は発砲によりレースは中断され、直後に再スタートが続くものとする。
 - 一周が完了した時、500m フィニッシュライン前で、スタートガンからの第 2 の発砲が与えられる。この瞬間から競技者はよりよい位置を得るために加速することが許される。
- 7) 周回計算は規則第 219 条に指示されたように実施され、(加速のない) 最初の周回は滑走すべき距離の一部をして計上される。

各中間スプリントのフィニッシュの 1 周前にベルシグナルが与えられる。

 - シニアのレース中、4、8、12 周後フィニッシュラインで計算される 3 回の中間スプリン

トがある。中間スプリントのフィニッシュの1周前に：周回数残り 13、9、5 周を表示する時にベルシグナルが与えられる。最終スプリントを知らせる周回数残り 1 周を表示する時に別のベルシグナルが与えられる。

- ジュニアのレース中、5 周後フィニッシュラインで計算される 1 回の中間スプリントがある。中間スプリントのフィニッシュの 1 周前に：周回数残り 6 周を表示する時にベルシグナルが与えられる。最終スプリントを知らせる周回数残り 1 周を表示する時に別のベルシグナルが与えられる。

8) 先頭（集団）の競技者により完全に 1 周追い越された競技者は直ちにレースを断念しなければならない。（図面①と②参照）

* ジャパンカップでは、追い越された競技者は直ちにウォームアップレーンに移動し、1 周しないうちにトラック内側の所定ベンチに着席する。

* 全日本距離別選手権では追い越された競技者は直ちに一旦アウトレーン外側に移動し、1 周しないうちにトラック内側の所定ベンチに着席する。

9) レース中に他の競技者に対する重大な妨害は、（例えば他の競技者の転倒を引き起こした場合など）失格を生じる。

10) スケーターは、トランスポンダー、特別な安全用具（I S U 規程第 223 条も参照）及びスケーター識別表示を着用しなければならない。これらの要求に不備がある競技者は失格となるか又はレースに参加することができない。

* 計時計測のため、両足首に正しいトランスポンダーを装着する。

* 安全目的のため、脛当て、カットレジスタント手袋を着用する。ブレードの後端は半径 1 cm に丸くカットする。更にカットレジスタントネックプロテクション、安全ギアが推奨される。

* スケーター識別表示として、番号付ヘルメットカバー（全日本距離別選手権、ヘルメット着用）、又は番号付ヘッドキャップ（ジャパンカップ）を使用する。

* 義務付けられた着用用具はトラック内側の準備エリア（図面の A）で受領（レース後に返納）し、装着の上、競技役員の確認を得る。ヘルメットを含むスケーター識別表示は実行委員会が用意する。

11) レース中、最終スプリントに加えて 3 回の中間スプリントのポイントが与えられる。

① シニア 16 周レースでは、スプリントのポイントは次のように与えられる：

◦ 中間スプリント（4、8、12 周後のフィニッシュラインで決定される）；最初のスケーター 3 名が 5-3-1 ポイントを得る。

◦ 最終スプリント（16 周後のフィニッシュラインで決定される）；最初のスケーター 3 名が 60-40-20 ポイントを得る。

② ジュニア 10 周レースでは、スプリントのポイントは次のように与えられる：

◦ 中間スプリント（5 周後のフィニッシュラインで決定される）；最初のスケーター 3 名が 5-3-1 ポイントを得る。

◦ 最終スプリント（10 周後のフィニッシュラインで決定される）；最初のスケーター 3 名が 30-20-10 ポイントを得る。

③ 競技者がレースをフィニッシュしない場合、中間スプリントで得たポイントは最終順位を決

定する際考慮されないし、フィニッシュしなかった競技者の中間スプリントポイントは、他のいかなる競技者にも譲渡されない。

- ④ スプリントの結果に影響するレーシング規則の違反が生じた場合、違反を犯した競技者は失格となり、このスプリントへのポイントは与えられない。
- 12) 最終スプリントで最初にフィニッシュした3名がそのレースの結果でトップ3位を得るようになる。
- ① レースの最終順位は中間スプリントと最終スプリントで得たレースポイントを合計して決定される。
 - ② レースポイントのない競技者は最終スプリントでの彼らのフィニッシュの順に従ってランクされる。
 - ③ フィニッシュしなかった競技者は、レースを断念する前の彼らの完了した周回数によりランクされる。
- 13) マススタートレース中、コーチはコーチエリアに又はトラック内側に入ることは認められない。
- 14) 次のレース規則はマススタートレースに適用しない：規則第 253 条 2、3 項、第 255 条、第 256 条、第 257 条、第 258 条及び第 259 条。

Mass Start Setup Plan (Team)

全日本距離別

